



発行元

「島根県西部発達障害者支援センターウインド」
 〒697-0005 島根県浜田市上府町イ 2589
 TEL: 0855-28-0208 FAX:0855-28-0217
 E-mail: wind1841@rhythm.ocn.ne.jp
 URL: <http://iwami-wind.org/>

ウインドのあるこくぶ学園周辺では、稲刈りが終わり、秋らしい風景になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋、何をするにもよい季節ですが、残暑の疲れが出やすいのもこの頃です。ご自愛いただきながら、それぞれの秋を、ご自身のペースでお楽しみいただけますように。

□ウインド医療相談



＊専門の医師をお招きして医療相談を実施しています。診断・投薬はできませんが、医療に関わる心配事など気軽に相談できます。【お一人あたり1時間の予約制】

＊事前(約1ヶ月半前)にスタッフが相談内容をお聞きし、当日も同席する事で、その後の支援に繋がっていきます。

日時	場所	担当医
令和9年2月18日(木) 13:00～16:00	ウインド	西部島根医療福祉センター 大野 貴子 先生

※医療相談の利用は、ウインドホームページ(医療相談)をご確認ください。(空き状況が確認できます)

※18歳までの方が対象です。

□島根県自閉症協会 地区部会



島根県自閉症協会さんの各地区の勉強会にウインドのスタッフも参加しております。

初めて参加される方は、日程や場所が変更になる場合がありますので、事前にウインドのスタッフまでお問い合わせ下さい。

地区	時間	場所	開催日
大田	10:00～12:00	仁万まちづくりセンター	10/7(水)、11/4(水)、12/2(水)、1/6(水)
邑智	14:00～16:00	元気館(和室)	11/17(火)、1/19(火)
江津	9:30～11:30	嘉久志コミュニティーセンター	10/15(木)、11/19(木)、12/17(木)、1/21(木)
浜田	9:30～11:30	いわみーる視聴覚室	11/5(木)、12/3(木)、1/7(木)
益田	10:00～12:00	ウインド益田相談室	10/22(木)、11/26(木)、12/24(木)、1/28(木)
吉賀	10:30～12:00	よしかの里	11/20(金)
津和野	10:30～12:00	はなみずき	1/19(火)



□3圏域合同 ウィンドブロック連絡会議（オンライン開催）

今年度も Zoom を利用したオンライン開催で、66 機関、88 名のご参加をいただきました。

内容

- ・R8年度 島根県発達障がい者支援関連事業の概要（島根県健康福祉部 障がい福祉課）
- ・R7年度 センター相談支援の状況 および R8年度 センター事業計画について（ウィンド）
- ・発達障害者支援センター全国連絡協議会より 情報提供
- ・各機関からの情報提供
- ・研修「発達障がいについて当事者の視点や悩み、困りごと、課題から学ぶ」
講師：難波 寿和 様（山陰発達障害当事者の会 スモステの会）
発達障がい成人当事者 様

参加者アンケートから

- ・ 難波さんと当事者の方のお話を聴かせて頂く貴重な機会をいただきありがとうございました。支援していくにあたって、本人の気持ちを聴き、常にご本人を中心にして進めていくことの大切さを感じました。
- ・ 幼少期から就労までの当事者の方の声を聴くことができ、相談や支援に対応する時の必要な視点を学び、感じることができました。自己研鑽の必要性を改めて感じました。
- ・ 「当事者が何に困っているのか、生の声を聴いてほしい。もっと勉強してほしい。」という当事者さんの言葉がとても印象に残りました。本やインターネットでの情報で分かった気にならず、当事者さんと直接やり取りすることの大切さが伝わりました。

情報提供をしていただいた各機関の皆様、ご講演いただいた難波様、当事者様をはじめ、ご参加の各機関の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

□ウィンド研修報告

□保育士・幼稚園教諭 専門研修

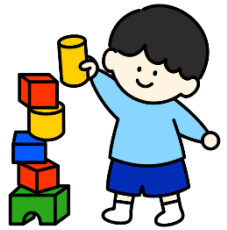
7月11日、昨年に引き続き、福山大学人間文化学部心理学科 講師 波光 涼風 先生にお越し頂き「ペアレントトレーニングを活用した子どもへの関わり～支援者ができる具体的アプローチ」というテーマで、ロールプレイ等を取り入れた実践的な研修をしていただきました。



ロールプレイでは、参加者の皆様がそれぞれ、子ども役、支援者役、観察役になり、講義で学んだ『大人が減らしたい関わり（3K：命令する・質問する・批判する）』と『大人が増やしたい関わり（3P：具体的に褒める・繰り返す・行動を言葉にする）』を意識しながら、遊びの場面を体験しました。

参加者アンケートより

- ・ とても分かりやすく、参考になり、充実した時間となりました。普段の子どもとの関わりで、3K を使っていることが多いなと自分の保育を見直すことができ、3P を増やして、子どもとの関わりを深めていきたいと思いました。
- ・ ロールプレイで、3K を減らして、3P を増やしながらの練習ができて、勉強になりました。実際、自分の保育は質問が多いなと実感しました。子どもの不適切な行動ではなく、よい行動に注目し、些細な事でもほめて、子どもとよりよい関係の元、過ごしていきたいと改めて感じました。



ご参加の皆様より、子どもへの関わり方を見直すきっかけになったというご感想をたくさんいただきました。波光先生、ご参加の皆様、ありがとうございました。

□専門研修 学齢期の学び支援

8月21日(金)に益田市グラントワにて、学齢期の学び支援専門研修を開催しました。

講師に、津和野町教育委員会 特別支援教育アドバイザーの三上 純子先生をお迎えし、「今あらためて深めたい 子どもを理解し支援すること」というテーマでご講義いただきました。



子どもを「理解すること」の中では、子ども理解のために、支援者が子どもの生きづらさに共感し(心を動かす)、その子が見せている姿を関係性の中で多面的に把握し(情報を得る)、見える姿から見えないものを探っていく(洞察する)という過程について詳しくお話いただきました。後半の「支援すること」の中では、「子どもの心が動く支援」、「子どもの現在の姿+1の目標」等、子どもが主体となる支援について、具体的なエピソードと共にお話いただきました。三上先生の子どもに対する「温かなまなざし」が随所に感じられる講演でした。

参加者アンケートより

- ・ 子どもの今の姿プラスワンの目標設定を考えてみようと思いました。できないことについて目がいってしまい、それを改善することを考えがちですが、前向きに考えていきたいと思いました。
- ・ ついつい「もう…」「まだ?」などと心の中で思ってしまうこともありますが、子どもを信じて待ってみたり、任せたりするなど、子ども自身が選択できる環境を作っていきたいです。そしてどんな時も明るく前向きにと心に留めておきたいです。
- ・ 問題にすべきはその子の特性ではなく、生きづらさ、それを生み出しているものは何か、というところがとても心に残りました。生きづらさは何なのか、何がそうさせているのかを考えることが大切だと思いました。

三上先生、ご参加の皆様、ありがとうございました。



□今後の研修予定



○島根県発達障がい者就労支援研修

今年度は講師に発達支援・就労支援アドバイザー 西村 浩二氏 をお迎えし、大人の発達障がい～働く場面における支援者スキル向上のために～と題したご講演をいただきます。本研修はハイブリッド方式（対面およびオンライン配信による受講）です。どうぞご参加ください。

【日 時】 令和8年12月12日（土） 13：20 ～ 16：00

【会 場】 いわみーる 401・402 研修室（〒697-0016 浜田市野原町 1826 番地 1）

【対 象】 発達障がいのある人の雇用に関心のある企業、就労支援事業所の職員 等

【定 員】 会場：70 名 オンライン：定員なし

【参加費】 無料

【内 容】

- ・発達障がいのある方自身の「自律・相談力」を育てる方法
- ・企業の理解を促進するため、支援者が「何を・どのように」伝えるか
- ・支援者間で支援を標準化するための「情報共有」のやり方 …etc



【申込方法】 右記の二次元コードまたは URL からお申込みください。

<https://forms.gle/MdRuamgNCbNFBVgy9>

【申込期間】 9 月 21 日（月）～11 月 30 日（月）

※現地参加者が定員を超過した場合はオンライン受講となります。

□ペアレントメンター“ひとコメ”ペンリレー

“ペアレントメンター”とは…

発達障がいの子育て経験を活かして、他の保護者さんのよき相談相手となれるよう、ペアレントメンター養成研修を受講、修了した先輩保護者さん方です。島根県西部地区で活動されているメンターさんをペンリレー方式で紹介します。今回は金城さんです。

自閉症協会 江津部会の金城幸子といいます。養護学校高等部、恐竜やモンハンが好きな男の子の母です！

息子は早い時期に病院や支援機関と繋がることができ、私としては安心感がすごく大きく、少しずつ息子を見守ってくださるチームができて、形を変えながら今もたくさん助けていただいています。

ただ日々の生活では、困りごとが 1 つ解決したかと思うとまたすぐに違う悩みが出てきて、時には悲観的になり、そんな時、私自身の心の迷いや正直な気持ちを話せるのが親の会でした。

会へ参加すると先輩メンターさんが一緒に泣いたり笑い飛ばしてくれたり(笑)「大したことじゃなかったかも!」「今日聞いた方法帰ったら試してみよう」と前向きになれて、メンターさんも悩みながら明るく話されている姿を間近で見て「私もいつか皆さんのようになりたいな」と思い、今があります。

まだまだ学びの途中でできることは少ないですが、親御さんがしんどい時、自分がしてもらったように、気持ちに寄り添える人になっていきたいです。

次は、自閉症協会繋がりで、益田部会、岡崎さんにバトンタッチです！

